

## 2016年8月期 決算サマリー

### 連結業績

(億円)

	2015年8月期	2016年8月期						2017年8月期	
	通期実績 (2014/9~2015/8)	上期実績 (2015/9~2016/2)		下期実績 (2016/3~2016/8)		通期実績 (2015/9~2016/8)		通期予想 (2016/9~2017/8)	
				前年同期比		前年同期比		前期比	
売上収益	16,817	10,116	+6.5%	7,748	+5.8%	17,864	+6.2%	18,500	+3.6%
売上総利益 (売上比)	8,485 50.5%	4,769 47.1%	▲0.5% ▲3.4p	3,880 50.1%	+5.2% ▲0.3p	8,649 48.4%	+1.9% ▲2.1p	-	-
販管費 (売上比)	6,718 39.9%	3,707 36.6%	+10.2% +1.2p	3,322 42.9%	▲1.0% ▲2.9p	7,029 39.3%	+4.6% ▲0.6p	-	-
事業利益 (売上比)	1,766 10.5%	1,062 10.5%	▲25.8% ▲4.6p	558 7.2%	+66.7% +2.6p	1,620 9.1%	▲8.3% ▲1.4p	1,800 9.7%	+11.1% +0.6p
営業利益 (売上比)	1,644 9.8%	993 9.8%	▲33.8% ▲6.0p	279 3.6%	+94.3% +1.6p	1,272 7.1%	▲22.6% ▲2.7p	1,750 9.5%	+37.5% +2.4p
金融収益・費用 (売上比)	162 1.0%	▲173 -	-	▲197 -	-	▲370 -	-	0 -	-
税引前利益 (売上比)	1,806 10.7%	820 8.1%	▲49.9% ▲9.1p	81 1.1%	▲51.8% ▲1.2p	902 5.1%	▲50.1% ▲5.6p	1,750 9.5%	+93.9% +4.4p
親会社の所有者へ 帰属する当期利益 (売上比)	1,100 6.5%	470 4.7%	▲55.1% ▲6.3p	10 0.2%	▲80.9% ▲0.5p	480 2.7%	▲56.3% ▲3.8p	1,000 5.4%	+108.1% +2.7p

### グループ事業別業績

(億円)

		2015年8月期	2016年8月期					
		通期実績 (2014/9~2015/8)	上期実績 (2015/9~2016/2)		下期実績 (2016/3~2016/8)		通期実績 (2015/9~2016/8)	
					前年同期比		前年同期比	
国内 ユニクロ事業	売上収益	7,801	4,536	▲0.2%	3,461	+6.3%	7,998	+2.5%
	事業利益 (売上比)	1,156 14.8%	636 14.0%	▲28.2% ▲5.5p	402 11.6%	+48.8% +3.3p	1,038 13.0%	▲10.2% ▲1.8p
	営業利益 (売上比)	1,172 15.0%	641 14.1%	▲28.3% ▲5.6p	383 11.1%	+38.0% +2.6p	1,024 12.8%	▲12.6% ▲2.2p
海外 ユニクロ事業	売上収益	6,036	3,892	+12.7%	2,661	+3.1%	6,554	+8.6%
	事業利益 (売上比)	507 8.4%	325 8.4%	▲24.7% ▲4.1p	136 5.1%	+80.6% +2.2p	461 7.0%	▲9.0% ▲1.4p
	営業利益 (売上比)	433 7.2%	294 7.6%	▲31.4% ▲4.8p	80 3.0%	+15x +2.8p	374 5.7%	▲13.7% ▲1.5p
グローバル ブランド事業	売上収益	2,953	1,673	+12.9%	1,612	+9.6%	3,285	+11.3%
	事業利益 (売上比)	209 7.1%	142 8.5%	+15.3% +0.2p	98 6.1%	+15.2% +0.3p	241 7.3%	+15.2% +0.2p
	営業利益 (売上比)	144 4.9%	143 8.6%	+21.9% +0.7p	▲47 -	-	95 2.9%	▲34.0% ▲2.0p

### 【決算ハイライト】

#### ■2016年8月期の連結業績実績：通期は減益も、下期は業績回復により大幅な増益に転じる

・売上収益が1兆7,864億円、前期比6.2%増、営業利益は1,272億円、同22.6%減、親会社の所有者に帰属する当期利益は480億円、同56.3%減と増収減益

・その他費用に為替差損110億円、J Brand事業の減損損失138億円、米国および国内ユニクロの店舗の減損損失および閉店に伴う除却損・閉店損の合計93億円などを計上。また、円高により外貨建資産などの換算差額が減少し、金融費用に為替差損369億円を計上。この結果、親会社の所有者に帰属する当期利益は大幅な減益となる。

・通期の営業利益は減益となるも、下期6ヶ月間の営業利益は前年同期比94.3%増と大幅な増益に転じた。これは国内ユニクロ事業、海外ユニクロ事業が下期から売上が回復したことに加え、経費削減の効果によるもの。

#### ■国内ユニクロ事業：粗利益率の改善、経費削減により、下期は大幅な増益に転じる

・売上収益は7,998億円、前期比2.5%増、営業利益は1,024億円、同12.6%減と増収減益。ただし、下期6ヶ月間の営業利益は同38.0%増と大幅な増益に転じる。

・下期は既存店売上高が同4.9%増と上期の1.9%減からプラスに転じる。「毎日お買い求めやすい価格」戦略の

定着により、下期の売上総利益率は改善。また、経費削減の効果により、売上販管費比率も改善。

**■海外ユニクロ事業：通期は増収減益も、下期は大幅な増益に転じる**

・売上収益は 6,554 億円、前期比 8.6%増、営業利益は 374 億円、同 13.7%減と増収減益。ただし、下期6ヶ月間の営業利益は前年同期比 15 倍と大幅な増益に転じる。下期の増益幅が大きかったエリアは、グレーターチャイナ（中国大陸・香港・台湾）、東南アジア・オセアニア、欧州。

・米国は、下期にビジネスの改善が見られたものの、店舗の減損損失など一時的な損失を計上、通期の営業損失は前期比で拡大。

・2015年10月にはベルギー、2016年9月にはカナダへ初出店。

**■グローバルブランド事業：J Brand 事業の減損損失を計上し、減益**

・売上収益は 3,285 億円、前期比 11.3%増、営業利益は、J Brand 事業の減損損失 138 億円を計上したことなどから 95 億円、同 34.0%減と、増収減益。

・ジーユー事業は極めて好調。売上収益が 1,878 億円、前期比 32.7%増、営業利益が 222 億円、同 34.8%増と大幅な増収増益。

・セオリー事業の営業利益は増益、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、J Brand 事業は赤字。

**■2017年8月期の連結業績予想：**

・2017年8月期の連結業績は、売上収益 1兆8,500 億円、前期比 3.6%増、営業利益 1,750 億円、同 37.5%増、親会社の所有者に帰属する当期利益 1,000 億円、同 108.1%増を見込む。各セグメントでは、いずれも増収増益を見込む。

・1株当たり年間配当金は、前期と同額の 350 円を予想。

\*\*\*\*\*

**業績概要**

**■国内ユニクロ事業：粗利益率の改善、経費削減により、下期は大幅な増益に転じる**

国内ユニクロ事業の売上収益は 7,998 億円、前期比 2.5%増、営業利益は 1,024 億円、同 12.6%減と増収減益となりました。増収となったのは、既存店売上高が 0.9%増となったこと、Eコマース事業が 30.1%増と好調だったことによります。通期の売上総利益率は 1.4 ポイント低下、販管費比率は 0.5 ポイント増加したことから営業利益は同 12.6%の減益となりました。ただし、下期6ヶ月間では、営業利益は同 38.0%増と大幅な増益に転じています。下期はジョガーパンツ、スカンツ、ウィメンズのブラウスといったトレンドの新商品や、エアリズム素材やドライ素材を使ったスポーツキャンペーン商品が好調で、下期の既存店売上高は同 4.9%増となりました。また、「毎日お買い求めやすい価格」戦略の定着により、下期の売上総利益率は改善、また、経費削減の効果により、売上販管費比率も改善しました。

**■海外ユニクロ事業：通期は増収減益も、下期は大幅な増益に転じる**

海外ユニクロ事業の売上収益は 6,554 億円、前期比 8.6%増、営業利益は 374 億円、同 13.7%減と増収減益となりました。ただし、下期6ヶ月間では、営業利益は前年同期比 15 倍と大幅な増益に転じています。下期の増益幅が大きかったエリアは、グレーターチャイナ（中国大陸・香港・台湾）、東南アジア・オセアニア、欧州でした。

グレーターチャイナの通期の業績は、売上収益が 3,328 億円、前期比 9.3%増、営業利益が 365 億円、同 5.5%減でした。グレーターチャイナも通期では減益となりましたが、下期は計画を上回る大幅な増益を達成しました。特に中国大陸では、第2四半期から既存店売上高が増収に転じたこと、経費削減の効果により、下期は大幅な増益となりました。また、東南アジア・オセアニア地区および欧州は、通期で増収増益を達成しています。

米国は、下期においてビジネスの改善が見られたものの、店舗の減損損失、除却損・閉店損など一時的な損

失を合計で74億円計上した結果、通期の営業損失は前期比で拡大する結果となりました。

なお、2015年10月にはベルギーへ、2016年9月にはカナダへ初出店を果たしたほか、2016年3月には英国のグローバル旗艦店311 オックスフォードストリート店をリニューアルオープン、2016年9月には東南アジア初となるグローバル旗艦店オーチャード セントラル店をシンガポールにオープンしています。2016年8月期末の海外ユニクロ事業全体の店舗数は958店舗に達し、前期末比160店舗の純増となりました。

### ■グローバルブランド事業：J Brand 事業の減損損失を計上し、減益

グローバルブランド事業の売上収益は3,285億円、前期比11.3%増、営業利益は、J Brand 事業の減損損失138億円を計上したことなどから95億円、同34.0%減と、増収減益となりました。この秋、1号店の出店から10周年を迎えるジュー事業の業績は極めて好調で、通期の売上収益が1,878億円、前期比32.7%増、営業利益が222億円、同34.8%増と大幅な増収増益となりました。ニット、スカンツ、ワイドパンツなどウイメンズのトレンド商品の販売が好調だったことから、既存店売上高は2桁増収となりました。2016年8月期末のジューの店舗数は海外10店舗を含めて350店舗に達し、前期末比31店舗の純増となりました。

また、セオリー事業の営業利益は増益、コントワー・デ・コトニエ事業は赤字、プリンセス タム・タム事業とJ Brand 事業は赤字が継続しました。

### ■2017年8月期の業績予想：すべてのセグメントで増収増益

2017年8月期の連結業績は、売上収益1兆8,500億円、前期比3.6%増、営業利益1,750億円、同37.5%増、税引前利益1,750億円、同93.9%増、親会社の所有者に帰属する当期利益1,000億円、同108.1%増、基本的1株当たり当期利益は980.74円を見込んでおります。各セグメントでは、いずれも増収増益を見込んでいます。国内ユニクロ事業は、既存店+Eコマース売上高は約2.0%の増収を見込み、粗利益率は前年並み、経費削減で営業利益率は若干の改善を見込んでいます。海外ユニクロ事業は、引き続きグレーターチャイナ、東南アジア・オセアニアの増益が寄与し、カナダを含む北米事業も赤字が大幅に縮小することから営業利益は大幅な増益となる見込みです。グローバルブランド事業は、ジュー事業が増収増益となることに加え、減損損失がなくなることから大幅な営業利益の増益を見込んでいます。2017年8月期末の店舗数は国内ユニクロで837店舗(フランチャイズ店含む)、海外ユニクロで1,104店舗、グローバルブランドで1,395店舗、合計3,336店舗を予想しています。

なお、1株当たり年間配当金は、中間配当金175円、期末配当金175円を合わせて350円、前期と同額の配当金を予想しております。

IR情報 <http://www.fastretailing.com/jp/ir/> に決算データや各種リリースなどを開示しております。